

エパフロディト：犠牲を伴う奉仕と尊ばれる帰還

パウロはなぜエパフロディトを尊ぶようフィリピの人々に求めますか。

エパフロディトはフィリピの人々からの支援をパウロに届け、奉仕の最中に死にかけました。パウロは公に推薦して送り返します。コロサイに関わる協力者エパfrasとは別人です。

一人の手に託された共同体の贈り物

フィリピの信徒への手紙は、エパフロディトを教会の使者であり、パウロの必要に仕える者と紹介します。贈り物を運ぶ彼の存在によって、経済的な協力が人と人との関係として見えてきます。パウロは彼を兄弟、協力者、戦友と表現します。これらは献身的な奉仕を尊ぶ言葉ですが、公式の伝記、家族の背景、本文を超える正確な旅の順序は示しません。

聖書の参照箇所: フィリピの信徒への手紙 2章25節・フィリピの信徒への手紙 4章14～18節

出典: letters

病気は失敗ではない

エパフロディトは重い病気になり、その知らせがフィリピの人々に届いたことを心配します。パウロは回復を神の憐れみとして語り、彼が亡くなればどれほど悲しかったかも認めます。本文は病気を恥とせず、働き手を使い捨てにもしません。弱さ、遠く離れた人への心配、回復への感謝、奉仕に伴う現実の心の負担を受け止めています。

聖書の参照箇所: フィリピの信徒への手紙 2章26～28節

出典: letters

敬意をもって迎える帰還

パウロは喜んで迎え、彼のような人を尊ぶよう教会に求めます。帰還は働きの失敗を意味しません。この模範は、キリストの自己献身とテモテの他者への配慮を述べた同じ章に続きます。共同体は目立たず代価の大きい働きを大切にし、帰ってきた働き手をいたわるよう招かれます。エパfrasと混同したり、その別の協力者についての経験を彼に当てはめたりしないでください。

聖書の参照箇所: フィリピの信徒への手紙 2章5～11節・フィリピの信徒への手紙 2章29～30節・コロサイの信徒への手紙 1章7節
出典: letters

出典

- [letters] Romans through Philemon; passage references are supplied in each section. <https://ebible.org/web/>

独自に制作した本文と画像：CC BY 4.0。聖書本文と第三者の素材は対象外です。

Pauline Letters・CC BY 4.0・<https://paulineletters.com/ja/explore/resources/epaphroditus>